

一般会計当初予算（案）の概要

一般会計の予算規模

当初予算総額		比較	
令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
千円	千円	千円	%
21,000,000	21,780,000	▲ 780,000	▲ 3.6

予算編成の考え方

- 1 令和8年度予算編成にあたっては、第2次平川市長期総合プランの将来像「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現のため、3つの基本目標を重点事項の基本とし、加えて第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目的である人口減少対策や、自治体DXなどの課題に対する取組みにも予算を重点配分しました。
- 2 「金田小学校外構整備事業」、「文化ホール舞台照明設備改修事業」、「防災行政無線スピーカー更新事業」などの大型建設事業の実施により、当初予算の規模としては210億円となり、市制施行後2番目の予算規模となりました。

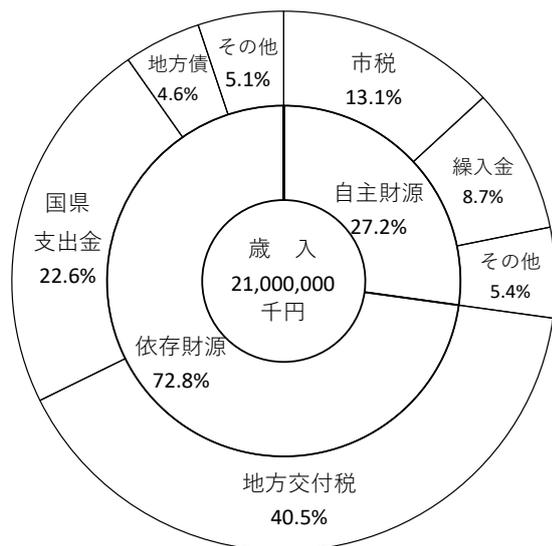
令和8年度当初予算の分析

(1) 歳入

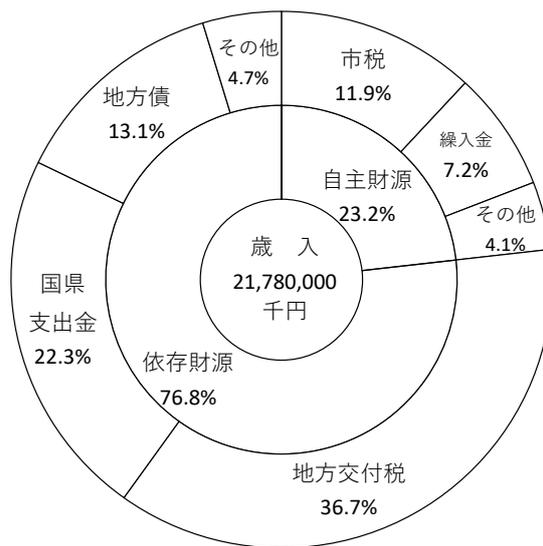
(単位:千円、%)

区 分	令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減 (A)-(B)	増減率
自主財源	5,719,209	27.2	5,029,279	23.2	689,930	13.7
市 税	2,758,397	13.1	2,586,044	11.9	172,353	6.7
分担金及び負担金	3,101	0.0	3,473	0.0	△ 372	△ 10.7
使用料及び手数料	106,548	0.5	88,181	0.4	18,367	20.8
財産収入	65,285	0.3	63,388	0.3	1,897	3.0
寄附金	500,002	2.4	200,002	0.9	300,000	150.0
繰入金	1,817,000	8.7	1,556,000	7.2	261,000	16.8
繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸収入	468,875	2.2	532,190	2.5	△ 63,315	△ 11.9
依存財源	15,280,791	72.8	16,750,721	76.8	△ 1,469,930	△ 8.8
地方譲与税	231,897	1.1	231,897	1.1	0	0.0
利子割交付金	4,000	0.0	1,000	0.0	3,000	300.0
配当割交付金	10,000	0.1	6,000	0.0	4,000	66.7
株式等譲渡所得割交付金	10,000	0.1	5,000	0.0	5,000	100.0
法人事業税交付金	35,000	0.2	30,000	0.1	5,000	16.7
地方消費税交付金	700,000	3.3	700,000	3.2	0	0.0
ゴルフ場利用税交付金	12,000	0.1	12,000	0.1	0	0.0
環境性能割交付金	17,000	0.1	17,000	0.1	0	0.0
地方特例交付金	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
地方交付税	8,500,000	40.5	8,000,000	36.7	500,000	6.3
交通安全対策特別交付金	2,304	0.0	2,500	0.0	△ 196	△ 7.8
国庫支出金	2,969,185	14.1	3,164,440	14.5	△ 195,255	△ 6.2
県支出金	1,784,905	8.5	1,707,984	7.8	76,921	4.5
市債	974,500	4.6	2,842,900	13.1	△ 1,868,400	△ 65.7
歳入合計	21,000,000	100.0	21,780,000	100.0	△ 780,000	△ 3.6

【令和8年度】



【令和7年度】



市税は、市民税において近年の決算状況等を鑑み前年度比15.1%増の12億1,823万円で計上したほか、固定資産税において令和7年度の賦課の状況を踏まえて家屋の新築・増築等による増分を反映した結果、前年度比0.3%増の11億4,435万円で計上し、市税全体としては前年度比6.7%増の27億5,840万円で計上しています。

地方交付税は、地方財政計画を反映させ、前年度比6.3%増の85億円を見込んでいます。

市債は、尾上分庁舎改修事業が令和7年度で完了したことなどにより前年度比18億6,840万円減の9億7,450万円の計上となりました。

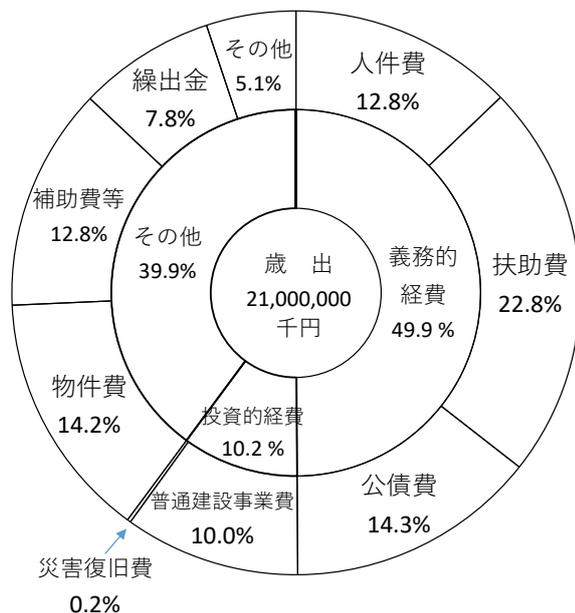
繰入金は、公共施設の整備に要する財源に充てるための公共施設等整備基金繰入金を10億円計上したほか市債管理基金繰入金を4億円、財源調整のための財政調整基金繰入金を4億1,700万円で計上しています。

(2) 歳出 (性質別)

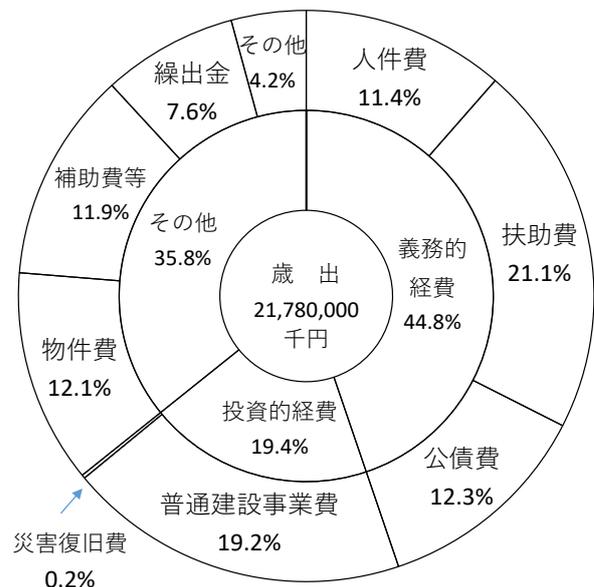
(単位:千円、%)

区 分	令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減 (A)-(B)	増減率
義務的経費	10,473,813	49.9	9,770,124	44.8	703,689	7.2
人件費	2,675,868	12.8	2,500,955	11.4	174,913	7.0
扶助費	4,797,298	22.8	4,597,219	21.1	200,079	4.4
公債費	3,000,647	14.3	2,671,950	12.3	328,697	12.3
投資的経費	2,151,941	10.2	4,218,426	19.4	△ 2,066,485	△ 49.0
普通建設事業費	2,104,244	10.0	4,169,244	19.2	△ 2,065,000	△ 49.5
補助事業	218,000	1.1	564,272	2.6	△ 346,272	△ 61.4
単独事業	1,843,645	8.7	3,573,323	16.5	△ 1,729,678	△ 48.4
県営事業・受託事業	42,599	0.2	31,649	0.1	10,950	34.6
災害復旧事業費	47,697	0.2	49,182	0.2	△ 1,485	△ 3.0
その他経費	8,374,246	39.9	7,791,450	35.8	582,796	7.5
物件費	2,970,460	14.2	2,630,604	12.1	339,856	12.9
補助費等	2,705,189	12.8	2,584,737	11.9	120,452	4.7
繰出金	1,648,067	7.8	1,646,031	7.6	2,036	0.1
その他	1,050,530	5.1	930,078	4.2	120,452	13.0
歳出合計	21,000,000	100.0	21,780,000	100.0	△ 780,000	△ 3.6

【令和8年度】



【令和7年度】



歳出構成比のうち、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が49.9%を占めています。そのうち扶助費については保育所等の運営に係る施設型給付費の公定価格改定などにより前年度比4.4%増の47億9,730万円を計上しています。

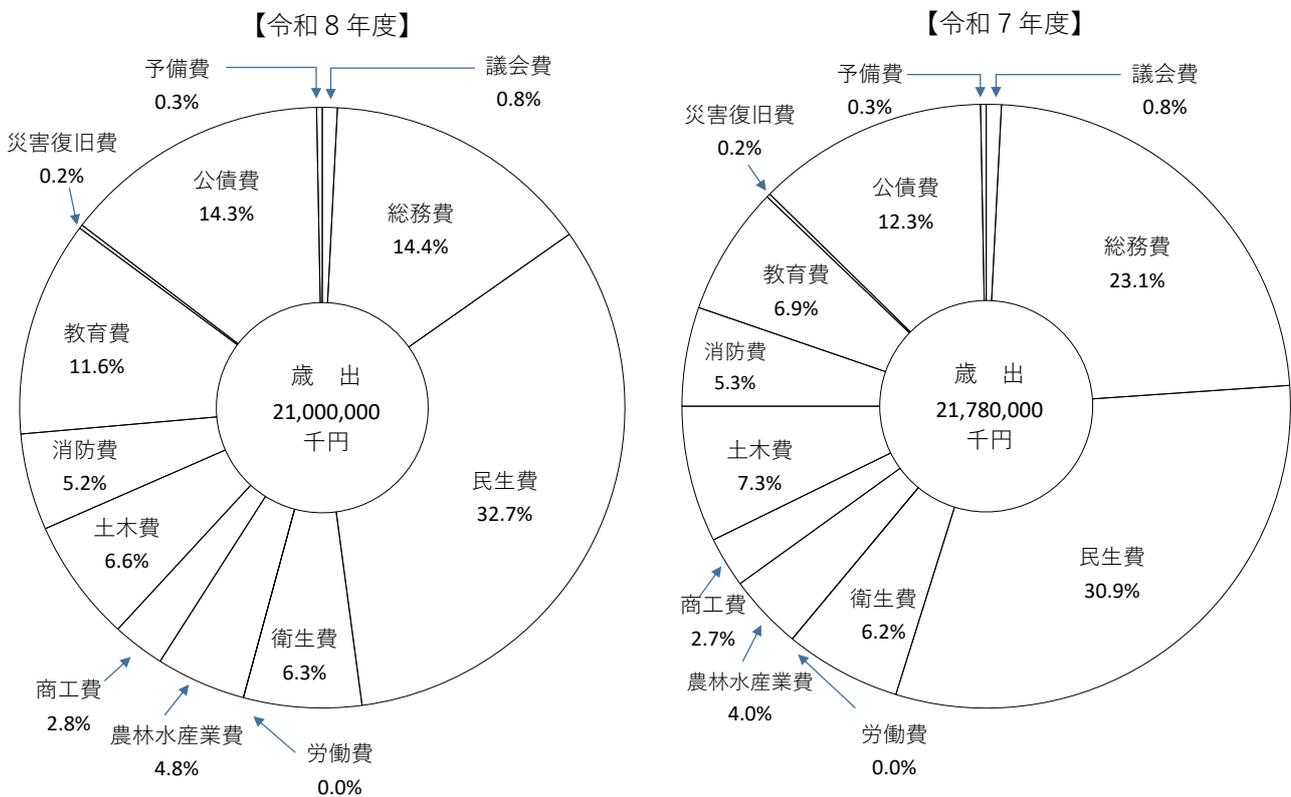
投資的経費は10.2%を占めています。そのうち普通建設事業費については、前年度比49.5%減となる21億424万円を計上しています。主な事業として、金田小学校外構整備事業3億2,996万円、文化ホール舞台照明設備改修事業2億1,590万円、防災行政無線スピーカー更新事業1億1,927万円などを計上しています。

その他経費は39.9%を占め、下水道事業会計への補助金及び出資金5億3,581万円や特別会計等への繰出金16億4,807万円などを計上しています。

(3) 歳出 (目的別)

(単位:千円、%)

区 分	令和8年度当初予算額		令和7年度当初予算額		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減 (A)-(B)	増減率
1款 議 会 費	165,307	0.8	163,136	0.8	2,171	1.3
2款 総 務 費	3,024,843	14.4	5,040,448	23.1	△ 2,015,605	△ 40.0
3款 民 生 費	6,877,344	32.7	6,739,618	30.9	137,726	2.0
4款 衛 生 費	1,313,589	6.3	1,348,365	6.2	△ 34,776	△ 2.6
5款 労 働 費	21	0.0	21	0.0	0	0.0
6款 農 林 水 産 業 費	998,537	4.8	865,696	4.0	132,841	15.3
7款 商 工 費	599,254	2.8	593,407	2.7	5,847	1.0
8款 土 木 費	1,380,699	6.6	1,591,425	7.3	△ 210,726	△ 13.2
9款 消 防 費	1,084,299	5.2	1,160,632	5.3	△ 76,333	△ 6.6
10款 教 育 費	2,447,763	11.6	1,496,120	6.9	951,643	63.6
11款 災 害 復 旧 費	47,697	0.2	49,182	0.2	△ 1,485	△ 3.0
12款 公 債 費	3,000,647	14.3	2,671,950	12.3	328,697	12.3
13款 予 備 費	60,000	0.3	60,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	21,000,000	100.0	21,780,000	100.0	△ 780,000	△ 3.6



総務費は、尾上分庁舎改修事業や碓ヶ関温泉会館大規模改修事業が令和7年度で完了したことなどにより20億1,561万円減の30億2,484万円となっています。

民生費は前年度比2.0%増の68億7,734万円を計上し、歳出全体の32.7%を占めています。内訳は施設型給付費、児童手当、生活保護費、障害福祉費などの扶助費が46億365万円、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などへの繰出金が15億3,020万円などとなっています。

教育費は金田小学校外構整備事業や文化ホール舞台照明設備改修事業、学校給食センター炊飯システム更新事業などにより、前年度比63.6%増の24億4,776万円の計上となっています。

公債費では、尾上分庁舎改修事業や碓ヶ関温泉会館大規模改修事業の償還開始などにより、前年度比3億2,870万円増の30億65万円を計上しています。

重点施策の主な事業概要

第2次平川市長期総合プラン

基本目標1 魅力あるひとづくり

- (1) 図書交流施設「よみまる」運営事業【新規】 73,253千円 ※人件費含まない。
令和8年3月20日オープンの図書交流施設の管理・運営を行う。
- ① 施設全体の開館時間(カフェ、貸オフィス等): 午前8時15分～午後9時
 - ② 図書館部分の開館時間(ワークスペース含む): 午前9時～午後6時
- (2) 国民スポーツ大会開催事業【新規】 151,996千円
令和8年度に第80回国民スポーツ大会のウエイトリフティング競技が当市で開催
- ① 開催期間 令和8年10月10日(土)～14日(水)
- (3) 学力向上対策事業(学習支援員の配置等)【拡充】 89,555千円
各学校へ学力向上のために配置している各種支援員について増員する。
- ① 学習支援員: 教員免許を保有している支援員 19人→22人
 - ② 特別支援教育支援員: 肢体不自由や知的障がい、発達障がいなどの事由により特別な支援を要する児童・生徒の学校生活をサポートする。13人→27人
 - ③ 小学校外国語教育支援員: 海外留学・居住経験ある方等を配置 2人→3人
- (4) すこやか住宅支援事業【継続】 30,000千円
市内への移住世帯、子育て世帯、新婚世帯を対象に、住宅の新築又は購入の費用を一部助成する。
- ① 助成額 250千円～1,100千円
 - ② 空き家・空き地バンクの登録物件を購入した場合、最大300千円加算
- (5) 奨学金返還支援事業【継続】 10,000千円
若者の就労初期における経済的負担を軽減するとともに、当市への移住・定住の促進を図るため、市内に居住して奨学金を返還する者に対し、その一部を助成する。
- ① 10/10助成、上限20万円/年、最大5年間
 - ② 対象年齢 30歳未満
- (6) 文化ホール自主公演事業 お笑いライブ【新規】 5,201千円
市制20周年記念として、幅広い世代に楽しんでもらうことができるお笑いライブを開催
- ① 開催日 令和8年6月21日(日) 昼・夕方の2回
 - ② 公演内容: マセキ芸能社お笑いライブ
- (7) スポーツ教室開催事業【継続】 448千円
令和8年度はバスケットボール競技の青森ワッツの選手を講師に招いて開催する。
- ① 7月に小・中学生を対象に実施予定
- (8) スクールバス運行事業【拡充】 37,810千円
現在の運行に加え、令和8年度より新たに2地区でスクールバスを運行する。
- ① 大坊地区: 学校統廃合により令和8年4月より運行開始
 - ② 日沼・新山・蒲田地区: 共助バスからスクールバスへ移行(冬期間のみの運行)

基本目標 2 活力あるしごとづくり

(1) まちづくり戦略事業【継続】 73,744千円

人口減少が進む中で平川市の持続的な発展を目指し10年先を見据えたまちづくりに向け、産業振興の促進、中心市街地活性化、雇用の場の創出など様々な課題解決のための調査、検討に取り組む。

① 食・農・観の活性化拠点基本計画 21,439千円

PFI導入可能性調査を行うとともに、施設整備計画や運営計画、概算事業費や整備スケジュール等を取りまとめた基本計画を策定する。

② 平賀駅周辺まちづくり基本計画 26,675千円

中央公園周辺も含む平賀駅周辺エリアの賑わいづくりに向けた事業化検討及びデザイン検討を行い、計画内容と事業化プロセスを具体化する基本計画を策定する。

③ 企業誘致適地選定調査 5,500千円

産業用地不足に対応するため、土地利用の現況や法規制の状況、産業インフラ等を踏まえた総合評価を行う「適地選定調査」を実施する。

④ スマートインターチェンジ整備可能性検討調査 20,130千円

東北自動車道黒石IC～大鰐弘前IC間に接続するスマートIC整備の可能性を調査する。

(2) 産業振興基本構想推進事業【継続】 5,349千円

R6.3月に策定した「産業振興基本構想」の実現に向け、4つの基本方針の進行管理や評価を行う。

① 域外から外貨を獲得する「稼ぐ力の向上」

② 稼いだ外貨を地域で回す「域内経済循環の促進」

③ 基幹産業である農業の優位性維持「持続可能な農業の基盤確保」

④ 交流人口の拡大など地域課題解決の鍵「食・農・観の活性化拠点」の整備

(3) 展示商談会等助成事業補助金【拡充】 1,500千円

市内中小企業等が商談会や物産展等に出席する際の支援について、これまで国内向けを対象に実施してきたものを、令和8年度からは海外出展を加え対象を拡充し、事業者の海外展開、販路拡大等を支援する。

① 補助率: 1/2以内、補助限度額: 30万円

(4) 園地づくり事業【継続】 76,476千円

市内農業者が果樹経営支援対策事業(国庫補助事業)を活用して実施する園地整備に対し、市でかさ上げ補助することで、作業環境改善を図り、農業者所得の向上に繋げる。

① 補助率 国: 事業費の1/2以内、市: 事業費の1/4以内

② 対象 園内道整備、排水路整備、新植・改植など

(5) スマート農業導入支援事業【継続】 4,300千円

スマート農業技術を取り入れ省力化等を図る農業者等に対し、導入費用を助成する。

① 農業用ドローン(3/10助成・上限800千円)

② 農業用ドローン技能認定取得補助(1/2助成・上限100千円)

③ ロボット草刈機(3/10助成・上限300千円) など

(6) 農業用機械シェアリング事業【継続】 381千円

新規就農者にとっては、農業用機械への初期投資が課題となっていることから、民間企業との協同により農業用機械(21馬力トラクタ、アタッチメント(ロータリー、マルチロータリー))のシェアリングサービスを提供する。

① レンタル料金への助成 1/2助成(上限: 2,200円/時間)

基本目標3 住み続けたいまちづくり

(1) 保育料等無料化事業【継続】 166,099千円

- ① 国の徴収基準を緩和した市独自の保育料設定により保護者負担を軽減 39,085千円
- ② 第1子から保育料を無料化 103,327千円（令和6年9月より第1子へ拡充）
- ③ 国の幼児教育・保育無償化の対象とならない副食費の無償化 23,687千円

(2) 子ども医療費給付事業【継続】 139,332千円

平成30年度から所得制限を設けず、中学生以下の医療費無料化を実施してきたが、令和5年9月診療分以降の医療費からは、高校生までを助成対象とし、令和8年度においても継続実施することで、子育て世帯を支援する。

(3) 学校給食費無償化事業【継続】 133,890千円

物価高騰が続く中、子育て世代の市民生活を支援するため、市内全小・中学生に係る学校給食費の無償化を引き続き実施する。

(4) 放課後児童クラブ障がい児受入推進事業【新規】 15,624千円

加配職員配置への費用を助成することで、障がいのある児童の受入機会の拡大につながり、多くの児童の放課後の居場所を確保できる。

(5) 食洗機レンタル定額利用支援事業【新規】 360千円

※R7.12月～

新たな子育て支援施策として、家事負担の軽減を図るため食洗機のレンタル等に要する経費の一部を補助する。

- ① 補助対象 18歳未満の子どもを養育する世帯
- ② 補助金額 食洗機レンタル等に要する経費の1/2(1月あたり上限1,500円、最大3年間)

(6) 専任集落支援員配置事業【新規】 8,637千円

地域運営組織である(一社)平川市西地区まちづくり委員会の事務局として、県内でも導入事例の少ない専任の集落支援員3名を委嘱・設置し、地域づくり活動拠点施設を拠点に、地域の維持活性化を図る。

(7) 地域運営組織支援事業【拡充】 2,100千円

地域の課題を地域住民自らが解決を目指す地域運営組織の活動を支援する。

また、(一社)平川市西地区まちづくり委員会が地域づくり拠点施設において実施する自主事業にかかる初期的な経費を支援する。

(8) デマンド交通「のらっさ」運行事業【継続】 32,353千円

令和6年12月より、旧循環バス・尾上乗合タクシーを新たなデマンド交通に移行。

AI(人工知能)を活用した予約配車システムを導入し、予約状況に応じてもっとも効率的なルートで運行する。

(9) 民間宅地開発支援事業【継続】 1,602千円

都市計画区域内において民間開発業者が行う宅地開発に対し、道路及び側溝の整備に係る費用の一部を補助する。

- ① 市街化区域 54千円/m、市街化調整区域 27千円/m

(10) にこにこBaby応援金事業【継続】 16,000千円

出産祝金として子ども一人当たり10万円を支給する。

(令和6年4月より支給対象を第1子からに拡大)

自治体DX関連事業

- (1) 公金収納対象拡大事業 2,761千円
納付者は納付書のeL-QRコードを読み取って自宅からキャッシュレス決済が可能となり、利便性の向上を図る。
- (2) GIS更新事業 35,326千円
地理情報システム「GIS」のサーバ機器の更新に加え、住民がインターネットで簡単に地理情報を見ることができるよう、公開型GISを構築する。
- (3) 消防団アプリ導入事業 1,122千円
団員の出勤状況や車両・水利情報の収集に時間を要しているが、アプリの導入によりリアルタイムで情報共有できるため迅速な活動支援に繋がる。
- (4) 防災情報受信アプリ等導入事業 21,395千円
市外にいる場合や防災無線が聞き取りにくい場合でも、アプリで内容を確認できる。

主な普通建設事業

- (1) 金田小学校外構整備事業 329,963千円
 - ① 校舎北側 駐車場整備(アスファルト舗装、側溝整備、外周フェンスなど)
 - ② 校舎南側 グラウンド整備(グラウンド舗装、外周フェンス、鉄棒設置など)
- (2) 文化ホール舞台照明設備改修事業 215,896千円
 - ① 老朽化した照明設備をLED照明へ改修
 - ② 照明操作卓、調光盤、照明器具、配線・コンセントなど
- (3) 防災行政無線スピーカー更新事業 119,269千円(R8~9 事業費総額 198,781千円)
 - ① スピーカー更新(424台撤去、278台据付等)
 - ② 明瞭性、到達範囲等の向上
- (4) 学校給食センター炊飯システム更新事業 112,700千円
 - ① 老朽化した炊飯システムの更新
- (5) 消防施設等整備事業 95,109千円
 - ① 屯所改修(金屋)など
 - ② 水利新設・更新(防火水槽:日沼、消火栓:南田中、小杉)など
 - ③ 消防団車両更新(大光寺、中佐渡)
- (6) 御仮屋橋橋梁補修事業 67,951千円(R5~8 事業費総額 220,720千円)
 - ① JR跨線橋である御仮屋橋の補修
- (7) 防災拠点施設整備事業 46,899千円
 - ① 集会施設改修事業(工事1件:切明、設計4件:金屋、向陽、八幡崎、三町会)
- (8) 猿賀公園駐車場周辺広場整備 25,661千円(R8~11 事業費総額 106,061千円)
 - ① 高台駐車場周辺の広場整備のための測量・概略設計及び用地買収
 - ② R9詳細設計、照明整備、R10-11工事

特別会計・企業会計当初予算（案）の概要

1. 特別会計

（単位：千円、％）

区 分	令和8年度 予 算 額 (A)	令和7年度 予 算 額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
国民健康保険特別会計	3,792,600	3,797,100	△ 4,500	△ 0.1
介護保険特別会計	4,405,800	4,340,900	64,900	1.5
後期高齢者医療特別会計	501,200	413,100	88,100	21.3
診療所特別会計	268,100	258,100	10,000	3.9
尾上地区住宅団地温泉事業特別会計	16,900	15,000	1,900	12.7
合 計	8,984,600	8,824,200	160,400	1.8

2. 企業会計

（1）水道事業会計

収益的収入及び支出

（単位：千円、％）

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
収 入（事業収益）	649,005	629,310	19,695	3.1
支 出（事業費用）	489,891	465,587	24,304	5.2

資本的収入及び支出

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
収 入（資本的収入）	257,275	42,456	214,819	506.0
支 出（資本的支出）	646,373	201,217	445,156	221.2

※うち水道管の耐震化に係る事業：179,734千円

（2）下水道事業会計

収益的収入及び支出

（単位：千円、％）

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
収 入（事業収益）	1,083,048	1,033,600	49,448	4.8
支 出（事業費用）	1,088,983	1,025,120	63,863	6.2

資本的収入及び支出

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
収 入（資本的収入）	242,276	310,602	△ 68,326	△ 22.0
支 出（資本的支出）	588,581	651,633	△ 63,052	△ 9.7